

お客様の「あったらいいな」を超えて、
日常の未来を生みだし続ける。

2026年3月期

決算説明資料

Financial Results for the Fiscal Year Ended March 31, 2026

TODAY'S AGENDA

- 0 1 | トップメッセージ
- 0 2 | 2026年3月期決算
- 0 3 | 事業別主要計数
- 0 4 | 2027年3月期業績予想
- 0 5 | 3か年見通し(2026～2028年度)と今期の取組み
- 0 6 | APPENDIX

AGENDA

01

トップメッセージ

創立25周年を迎え、「あったらいいな」から、社会の「なくてはならない」へ



Seven Bank Next Journey

～つながる想い、広がる未来。～

株主・投資家をはじめとする全てのステークホルダーの
皆さまの多大なるご支援に感謝し、
さらなる企業価値の向上に向けて共に歩んでまいります。

新たなステージへの第一歩 さらなるステップアップへ

- 2026年初夏からファミリーマートへのATM設置開始
4年程度で約16,000台のATMを設置予定

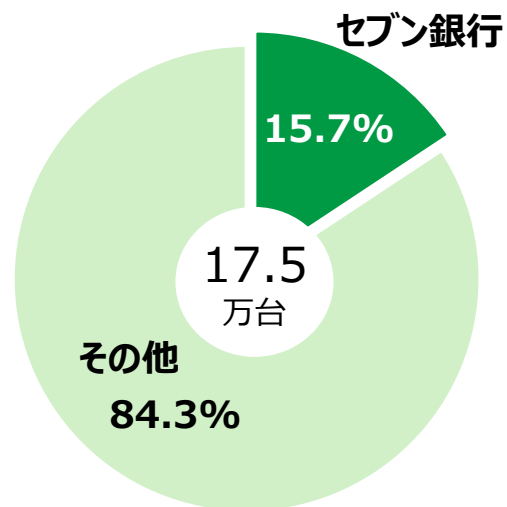


店舗に調和した専用デザイン
サービスは共通化

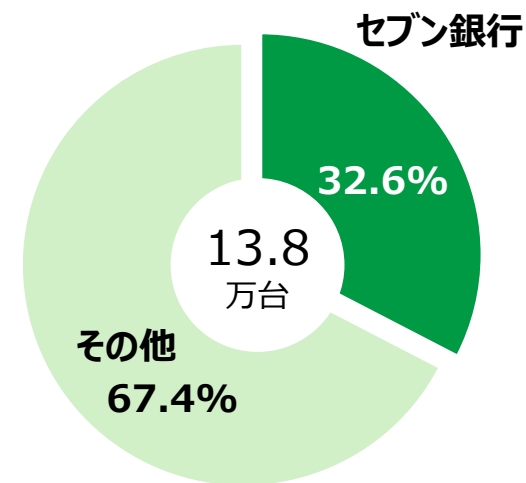
注)側面が赤色のATMはセブン-イレブン等設置デザイン、
緑色のATMはファミリーマート設置デザイン

国内ATM台数シェア

2026年3月末時点



2030年3月末時点



面の拡大とともに、さらなる機能アップ予定
お客さまの生活をより便利に

注)国内ATM台数は当社推計、2030年3月末の当社ATM台数は計画に基づく

AGENDA

02

2026年3月期決算

2026年3月期 決算のポイント



業績概況

連単ともに経常収益は過去最高、
経常利益は減益



国内ATM事業

利用件数は過去最高
ATM受入手数料単価は
計画比上振れ



国内リテール事業

預金残高は計画達成、
ローン残高は僅かに計画未達



海外事業

米国は計画を大幅に上回り黒字
インドネシア、フィリピンは利用
件数・台数ともに計画未達

2026年3月期決算

損益状況【連結】

経常収益

セブン銀行単体を主に増収

経常利益

セブン・カードサービスを主に減益も、
計画を上回って着地

純利益

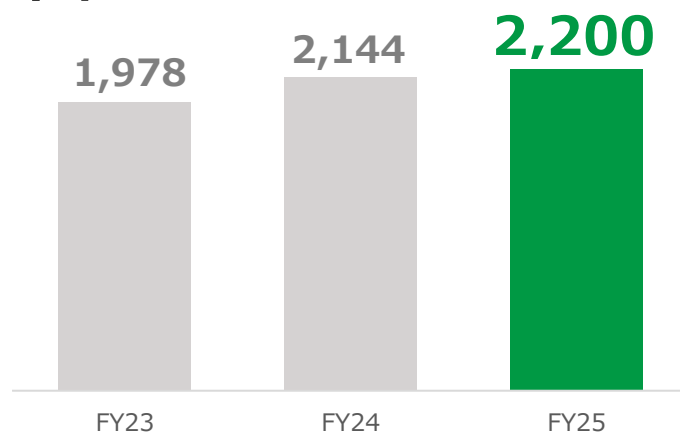
クレジットカード事業で特別損失
を計上し大幅減益

- 注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
 注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
 注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
 注4) 連結損益の為替レート
 1米ドル: 2025年3月期実績 = 151.69円
 2026年3月期計画 = 148.08円
 2026年3月期実績 = 149.61円
 注5) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

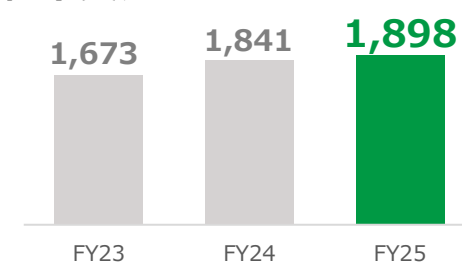
	当期実績 (2026年3月期)	前期実績 (2025年3月期)	前期比	計画比
経常収益	2,200億円	2,144億円	+2.6%	+1.8%
経常費用	1,898億円	1,841億円	+3.0%	+0.4%
経常利益	301億円	302億円	△0.3%	+11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	134億円	182億円	△26.3%	+21.8%
EBITDA	611億円	594億円	+2.8%	-

2026年3月期決算
業績推移【連結】

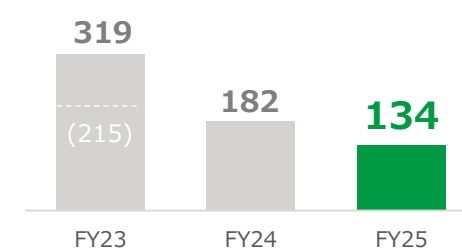
経常収益



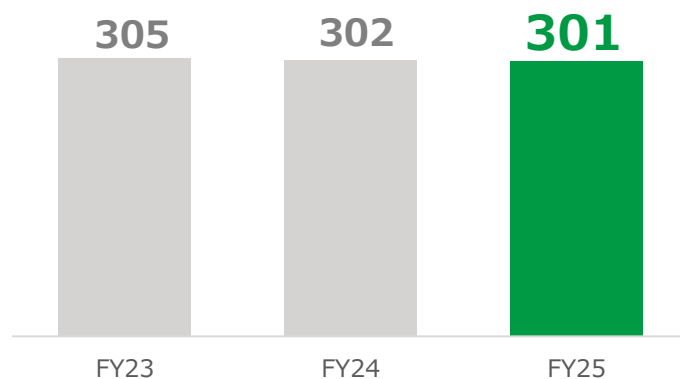
経常費用



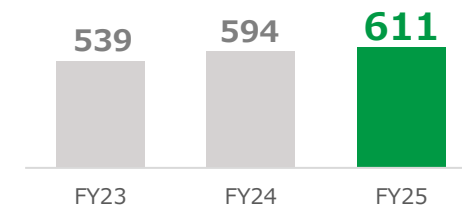
親会社株主に帰属する当期純利益



経常利益



EBITDA



注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注2) FY23の親会社株主に帰属する当期純利益には、株式会社セブン・カードサービスを連結子会社化したことに伴う特別利益「負ののれん発生益」215億円が含まれております。

2026年3月期決算

損益状況【セブン銀行単体】

経常収益

個人向けローンの伸長に加え、
ATM利用件数も堅調に推移し

増収

経常利益

ATM入替に伴う償却費および
金利環境の変化による資金調達
コストの増加等を主因に減益

	当期実績 (2026年3月期)	前期実績 (2025年3月期)	前期比	計画比
経常収益	1,429億円	1,357億円	+5.3%	+2.0%
経常費用	1,162億円	1,084億円	+7.1%	+0.6%
経常利益	266億円	273億円	△2.5%	+8.5%
当期純利益	180億円	176億円	+2.2%	+9.0%
EBITDA	517億円	504億円	+2.5%	+4.2%

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

AGENDA

03

事業別主要計数

国内事業(ATM)

国内事業(ATM)

主要計数

ATM利用件数の推移

年度総利用件数

1,122百万件

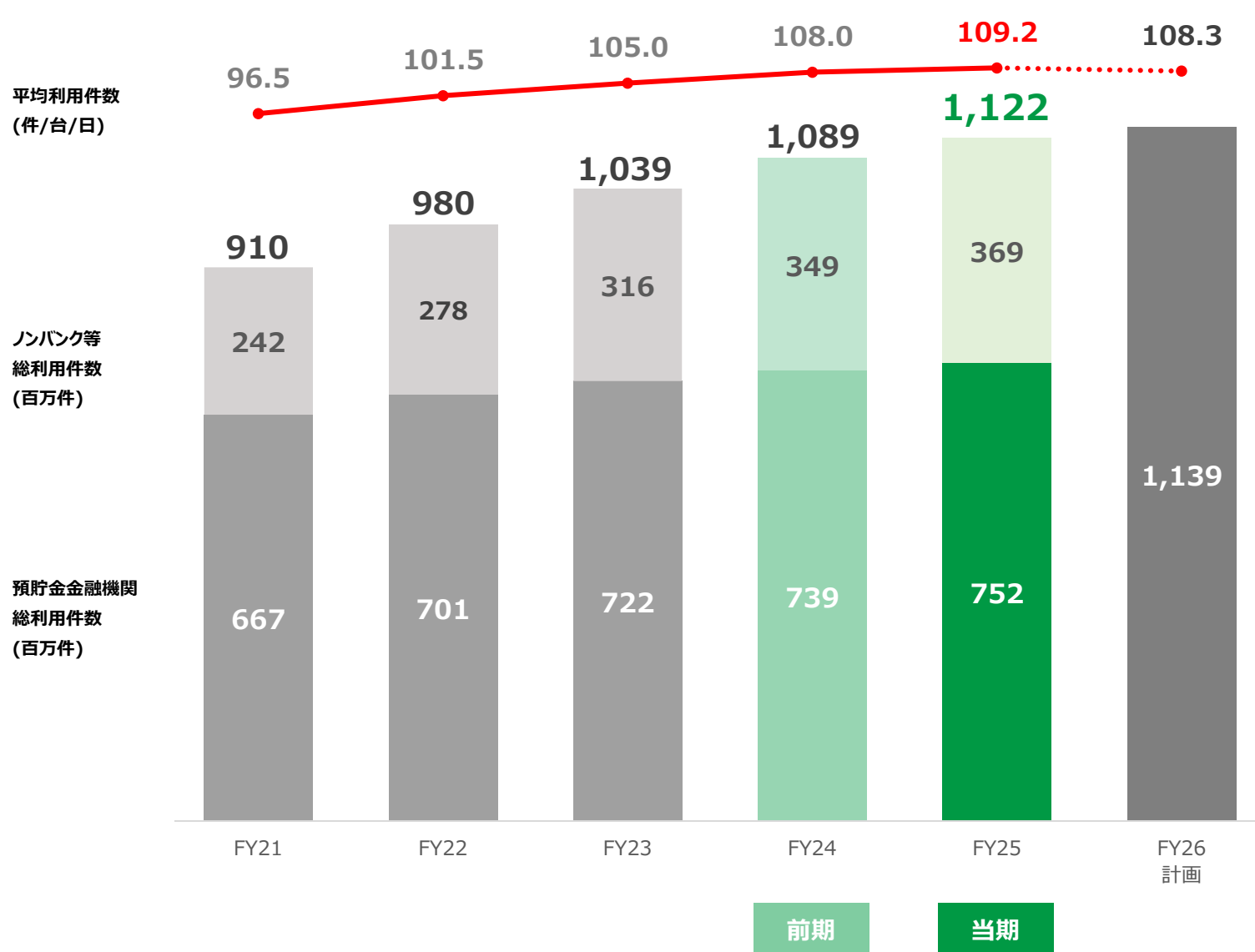
(+33百万件)

年度平均利用件数

109.2件

(+1.2件)

- 注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
注4) ATM総利用件数、平均利用件数には残高照会、
電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更等を含まず
注5) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、
クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、
コード決済事業会社等の合計
注6) FY25のATM受入手数料単価105.7円
※ ATM受入手数料単価は、
ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を
伴わない利用件数<売上入金等>)で算出



国内事業(ATM)

主要計数

ATM期末台数の推移

ATM期末台数

28,536台

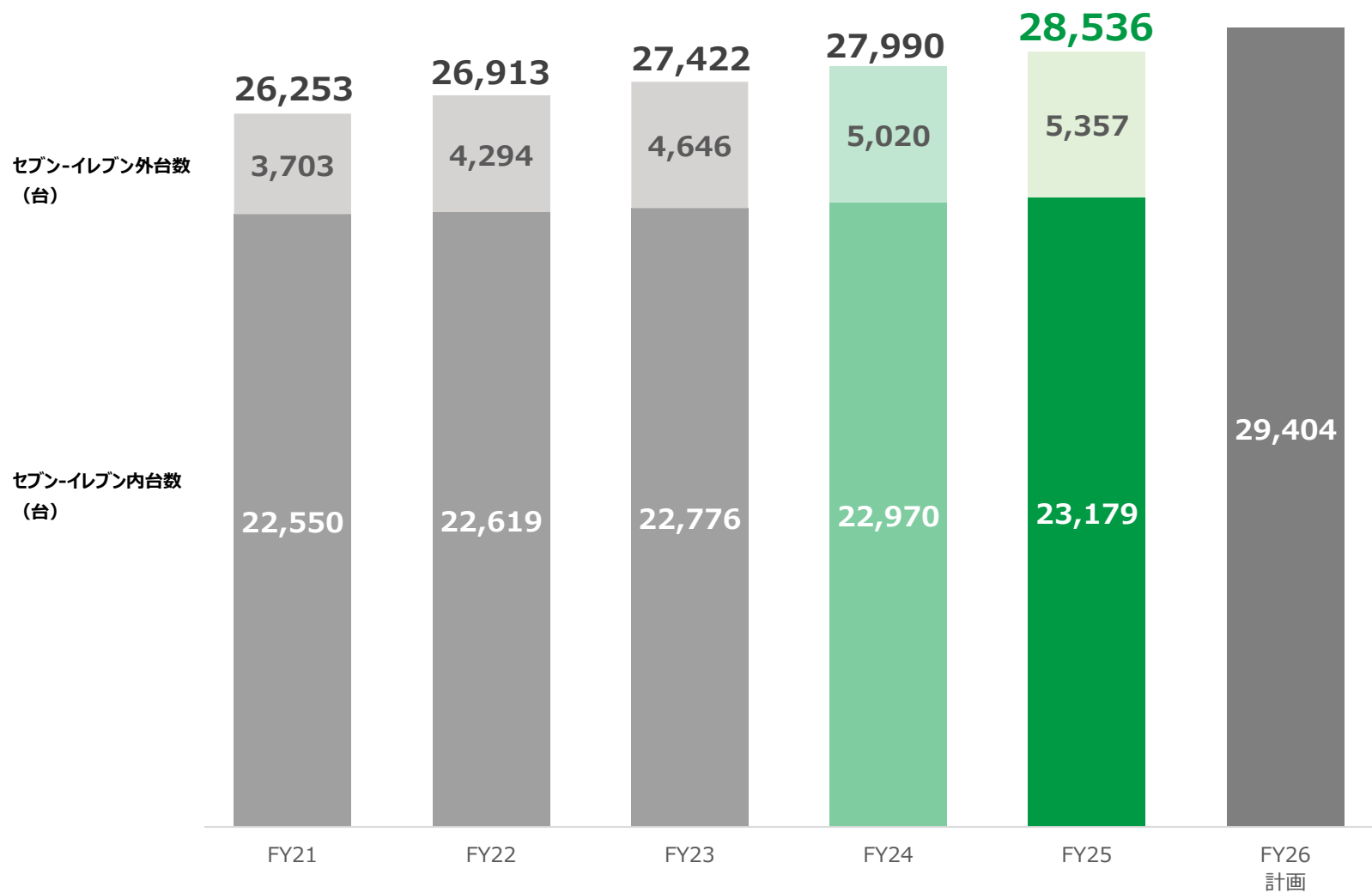
(+546台)

セブン-イレブン内

23,179台 (+209台)

セブン-イレブン外

5,357台 (+337台)



注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業（リテール）

国内事業(リテール)

主要計数

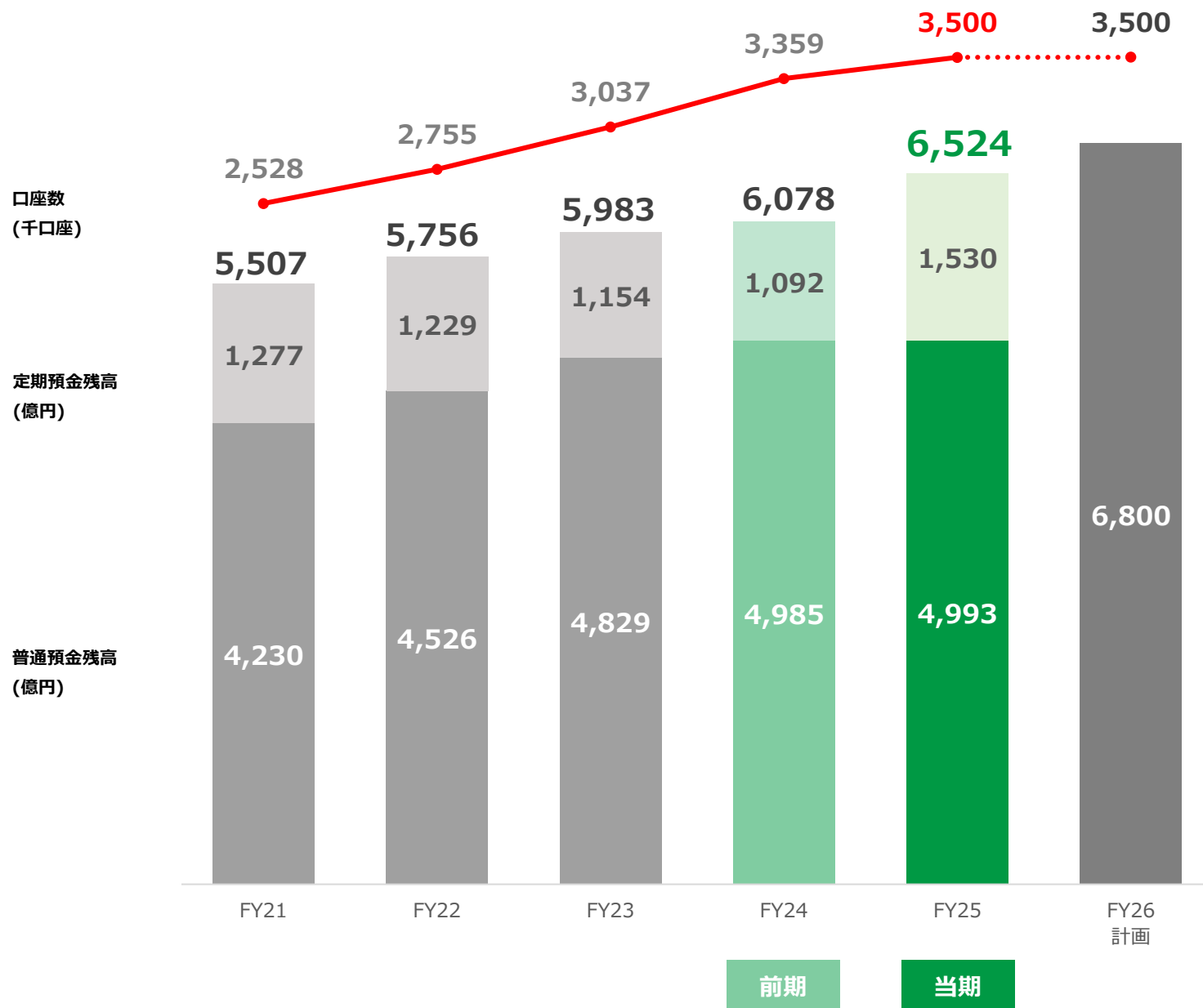
口座数と預金残高の 推移(個人)

口座数

3,500千口座
(+141千口座)

預金残高

6,524億円
(+446億円)



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

国内事業(リテール)

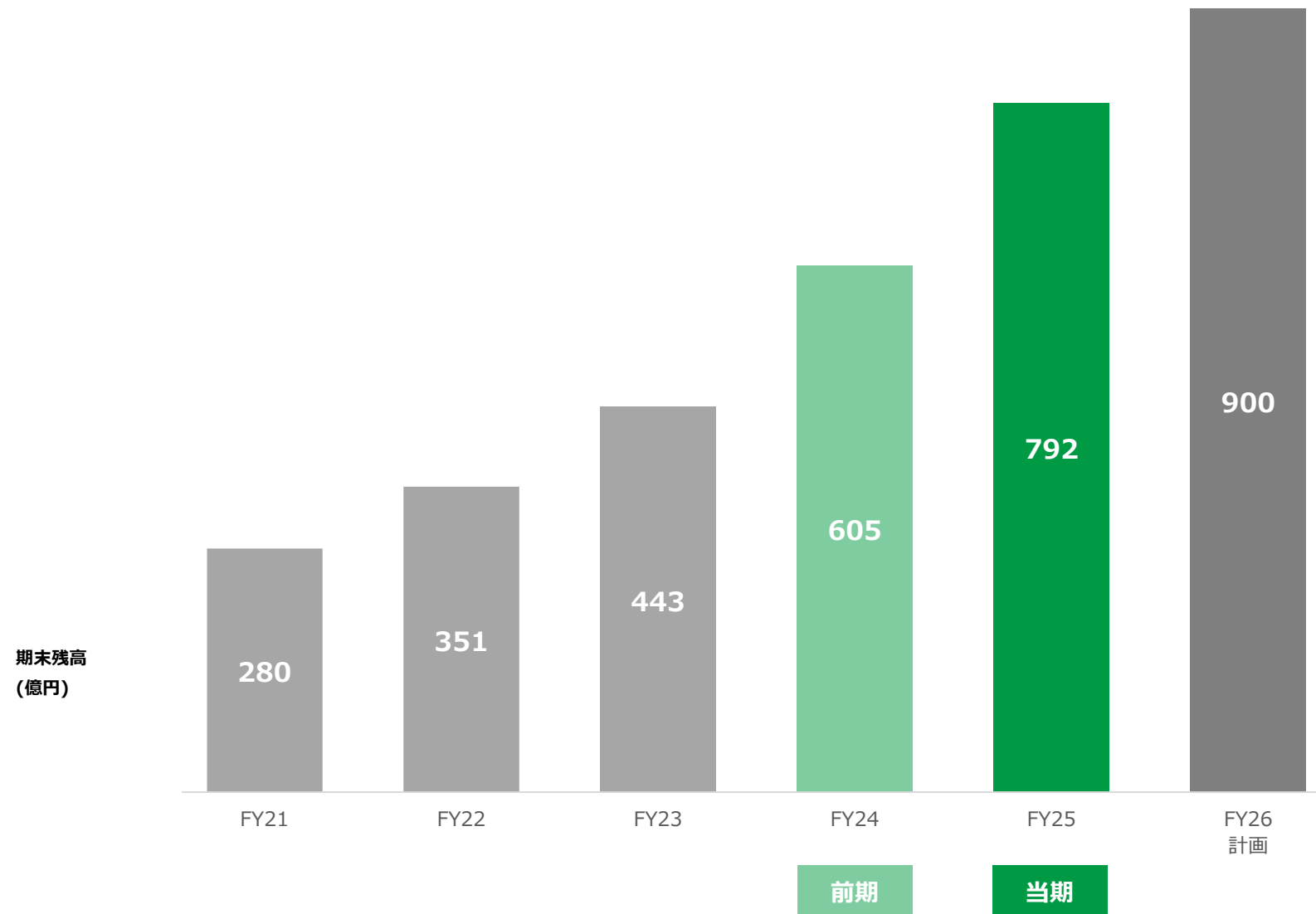
主要計数

個人向けローンサービス

期末残高

792億円

(+187億円)



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
 注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
 注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
 注4) FY22までの期末残高には、Credd Finance提供サービスも含まれております。

国内事業(リテール)

主要計数

セブン銀行

後払いサービス

取扱件数

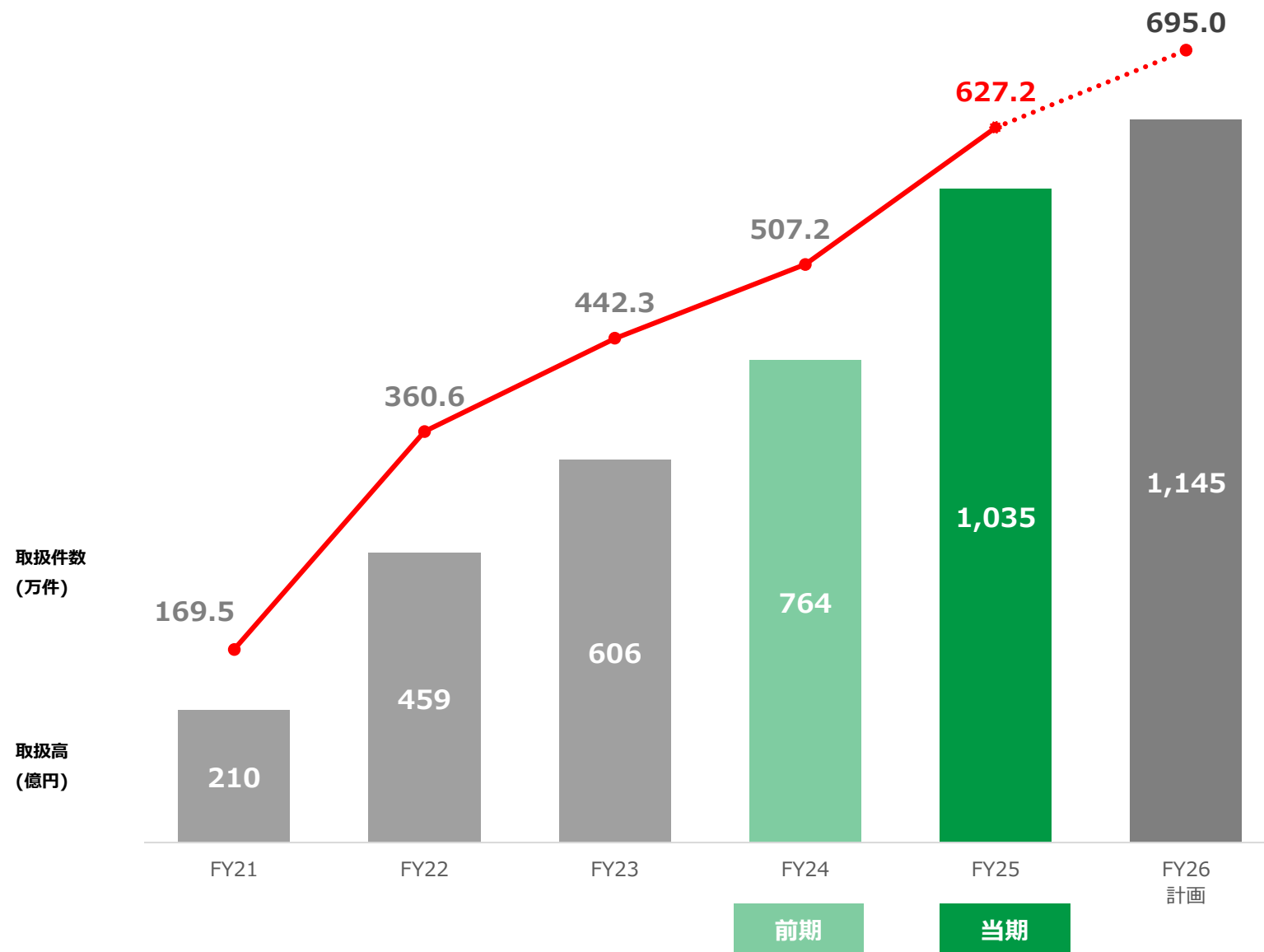
627.2万件

(+120.0万件)

取扱高

1,035億円

(+271億円)

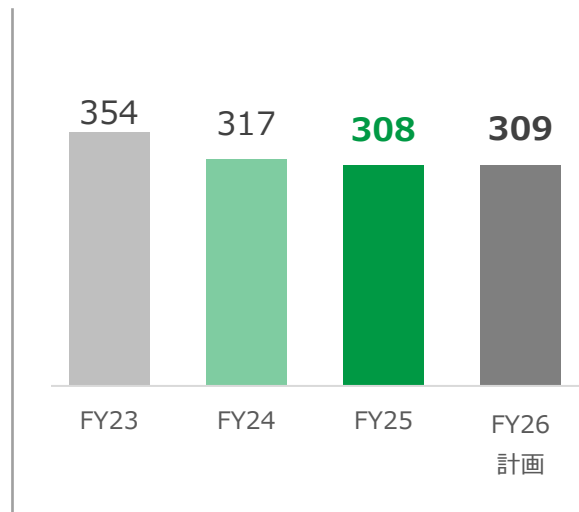


注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
注4) 2021年9月開始のサービスのため、FY21は3Q、4Qのみ。

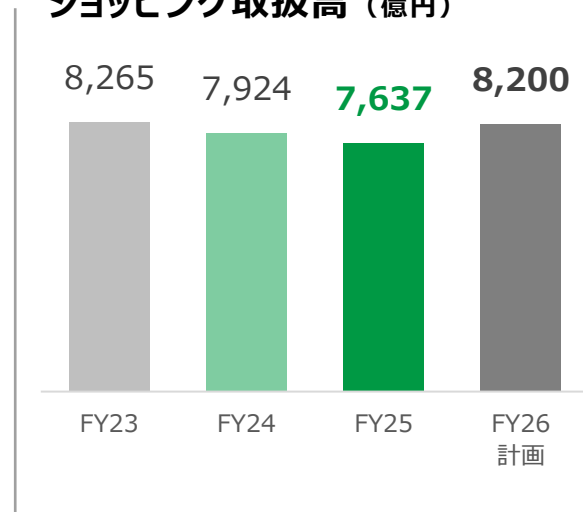
セブン・カードサービス

KPI

クレジットカード会員数 (万人)



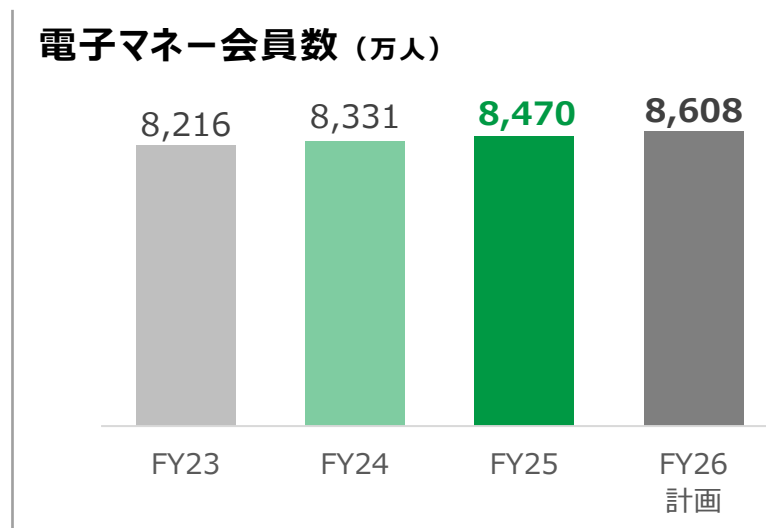
クレジットカード
ショッピング取扱高 (億円)



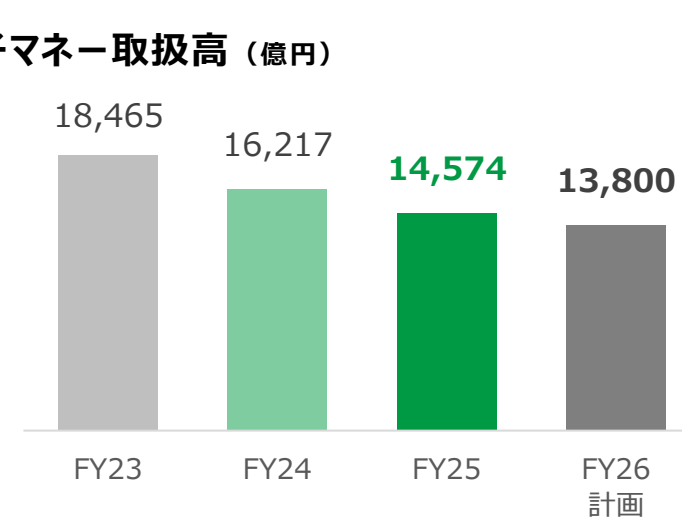
金融商品残高 (億円)



電子マネー会員数 (万人)



電子マネー取扱高 (億円)



注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本スライドのKPIは各年度、4月～翌年3月までの数字を表示しております

海外事業

海外事業

ATM総利用件数の推移

米国は利用件数増加も
 インドネシア・フィリピンの件数
 減少により**総利用件数は減少**

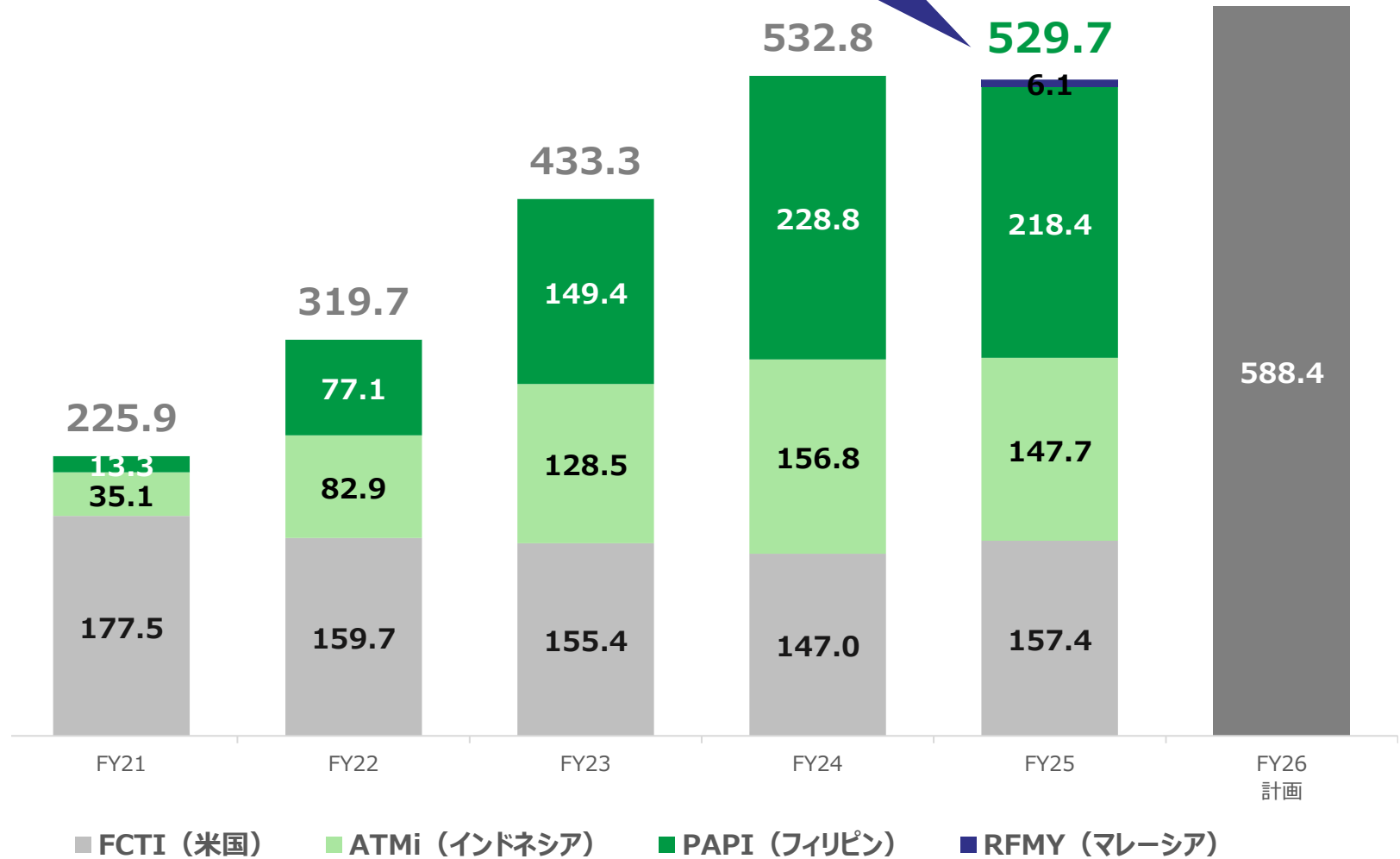
年度総利用件数

529.7百万件
 (▲3.1百万件)

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
 注2) 米国、インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む。
 注3) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
 売上金入金を除く。
 注4) マレーシアのATM利用件数には残高照会を含まない
 注5) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
 4Q (10月-12月)

2025年1月
 RFMY 事業開始

(単位：百万件)



海外事業

米国

平均利用件数が計画を上振れ、
計画比大幅な**黒字化を達成**

2026年度はSpeedway等への
設置完了予定、その影響により
平均利用件数は一時減少見込

FY25経常収益

272.8億円

FY25経常利益

23.8億円

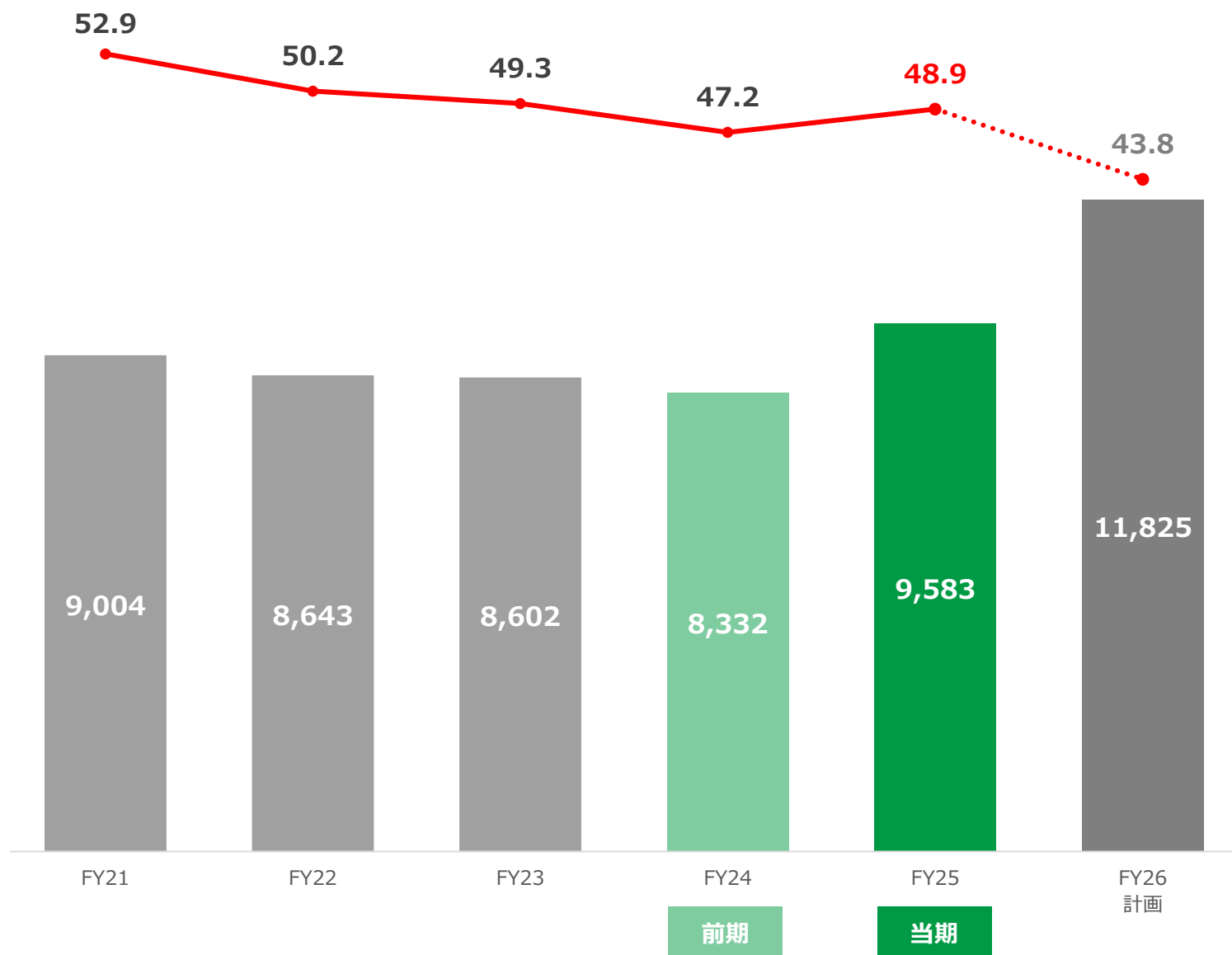
**26年3月末ATM台数：
10,465台（速報値）**

注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)

平均利用件数
(件/日/台)

期末設置ATM台数
(台)



海外事業

インドネシア

不採算ATMの撤去を推進するも、
競争環境激化で**平均利用件数減少**

2026年度は平均利用件数改善に
向け、直接提携先獲得などを旨指す

FY25経常収益

75.3億円

FY25経常利益

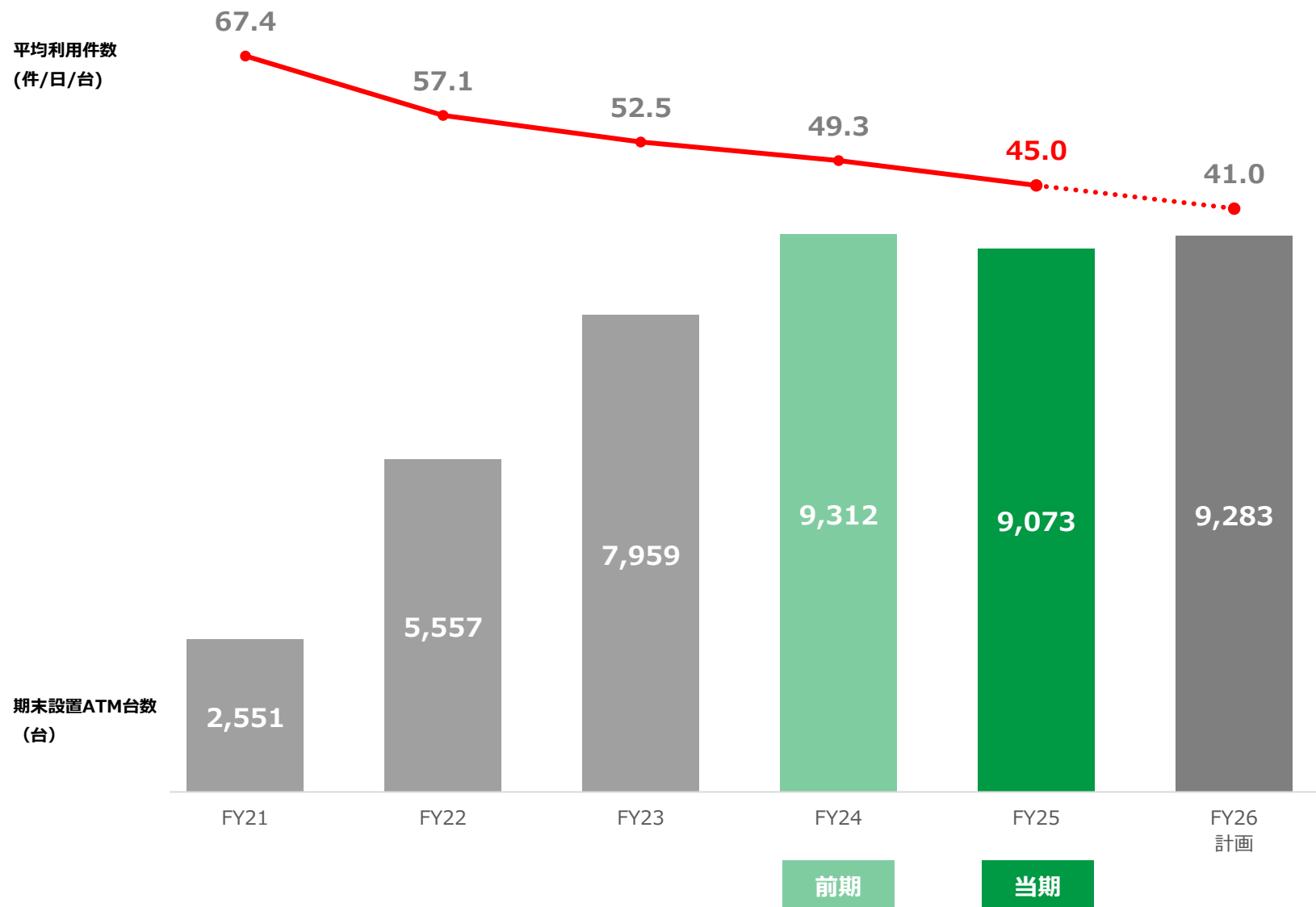
9.3億円

**26年3月末ATM台数：
9,100台（速報値）**

注1) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む

注2) 1Q（1-3月）、2Q（4-6月）、3Q（7-9月）、
4Q（10月-12月）

注3) 台数の速報値は受託設置を除く



海外事業

フィリピン

大手提携行の手数料有料化に加え、景気減速の影響等により

利用件数減少

2026年度は海外カード取引やデジタルウォレットとの提携等により収益性改善を目指す

FY25経常収益

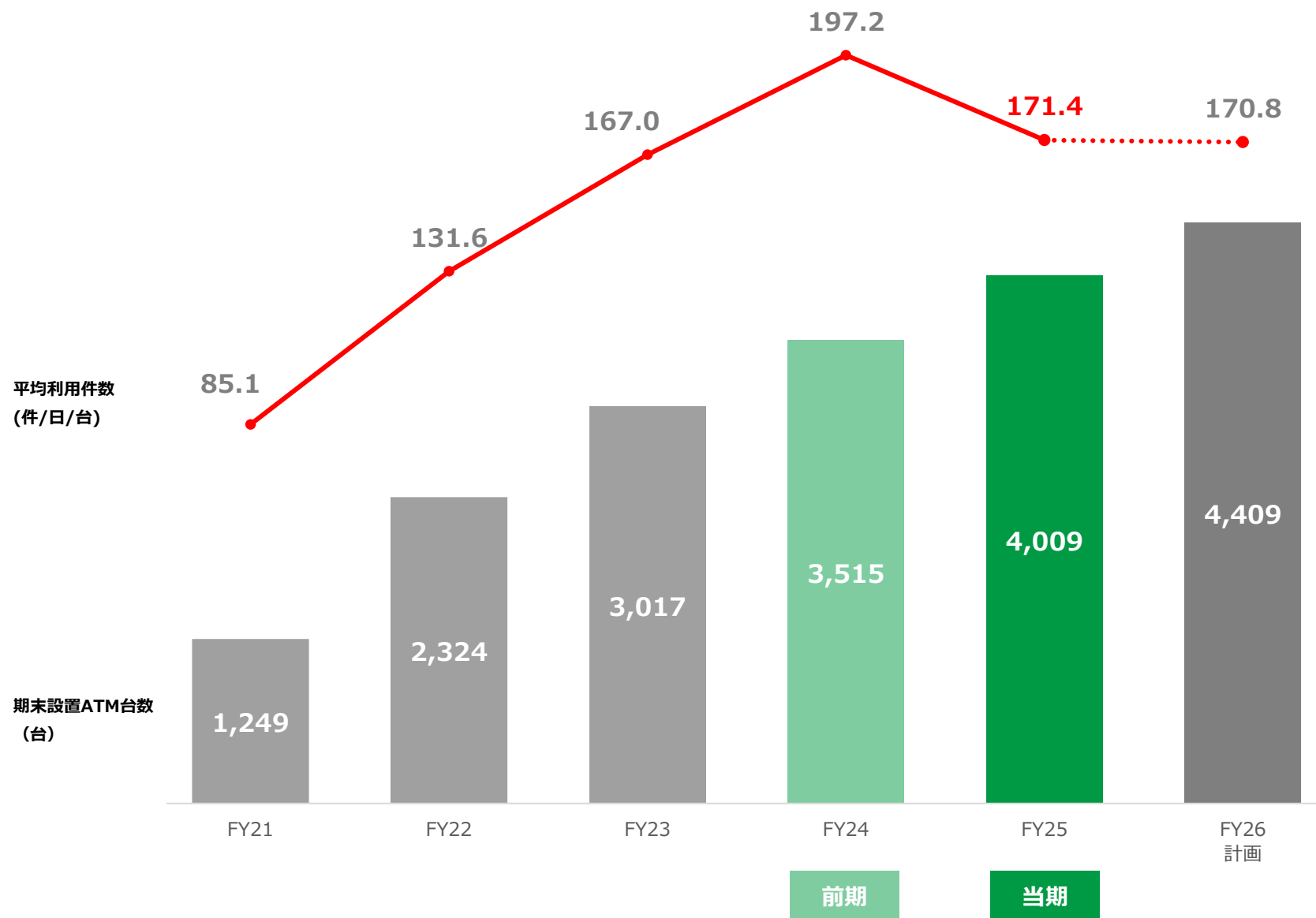
85.5億円

FY25経常利益

4.3億円

26年3月末ATM台数：
4,104台（速報値）

注1) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、売上入金を除く
注2) 1Q（1-3月）、2Q（4-6月）、3Q（7-9月）、4Q（10月-12月）



海外事業 マレーシア

計画通り設置し初年度黒字化、
地域拡大しさらに400台設置予定

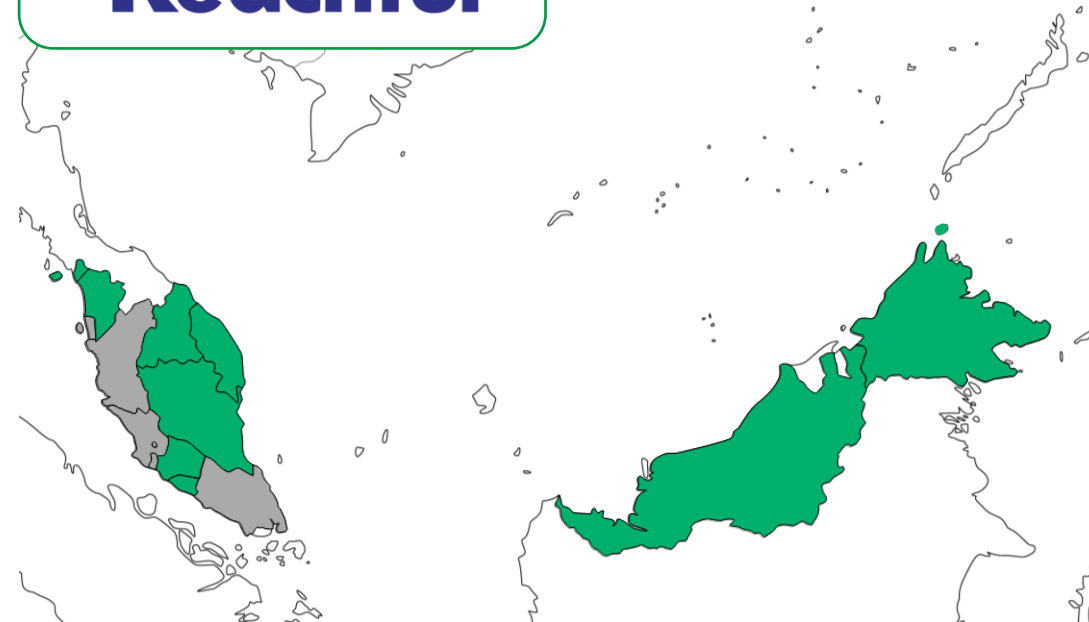
2026年度は設置拡大により
平均件数は減少見込みも、
通期で**増収・黒字着地を目指す**

**26年3月末ATM台数：
126台（速報値）**

注1) マレーシアのATM利用件数には残高照会を含まない。
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)



Reachful



	FY25 当期	FY26 計画
期末設置 ATM台数	98台	500台
平均利用件数	217.3件	192.7件

AGENDA

04

2027年3月期
業績予想

業績予想【連結】	2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	前期比
連結経常収益	2,200億円	2,355億円	+7.0%
連結経常費用	1,898億円	2,060億円	+8.5%
連結経常利益	301億円	295億円	△1.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	134億円	170億円	+26.8%

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル 2026年3月期実績 149.61円、2027年3月期計画 154.00円

注4) 2027年3月期は、クレジットカード事業の減損を主因とした特別損失35億円の計上を見込んでおります

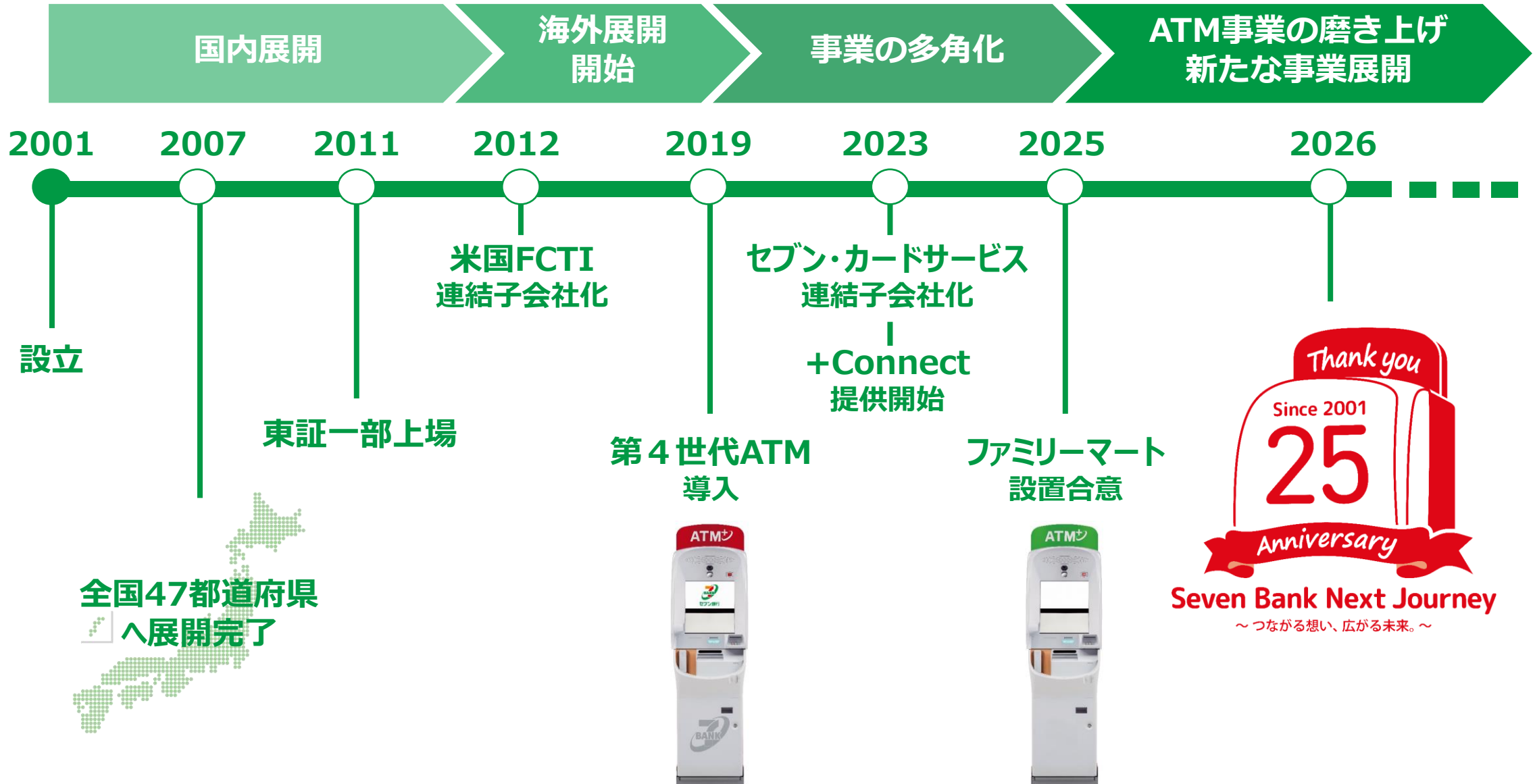
AGENDA

05

3 か年見通し(2026~2028年度)と
今期の取組み

前中期経営計画の振り返り

創業25周年～当社の歩み～

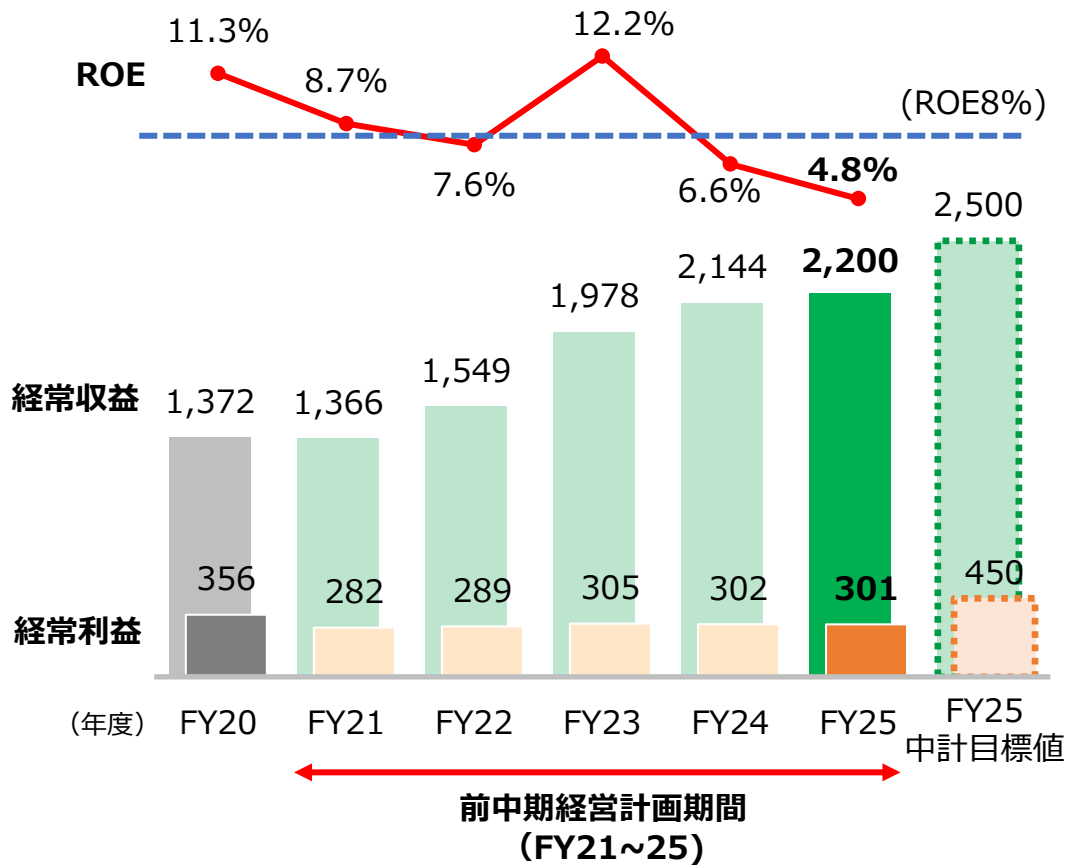


財務目標は未達も多角化は進捗

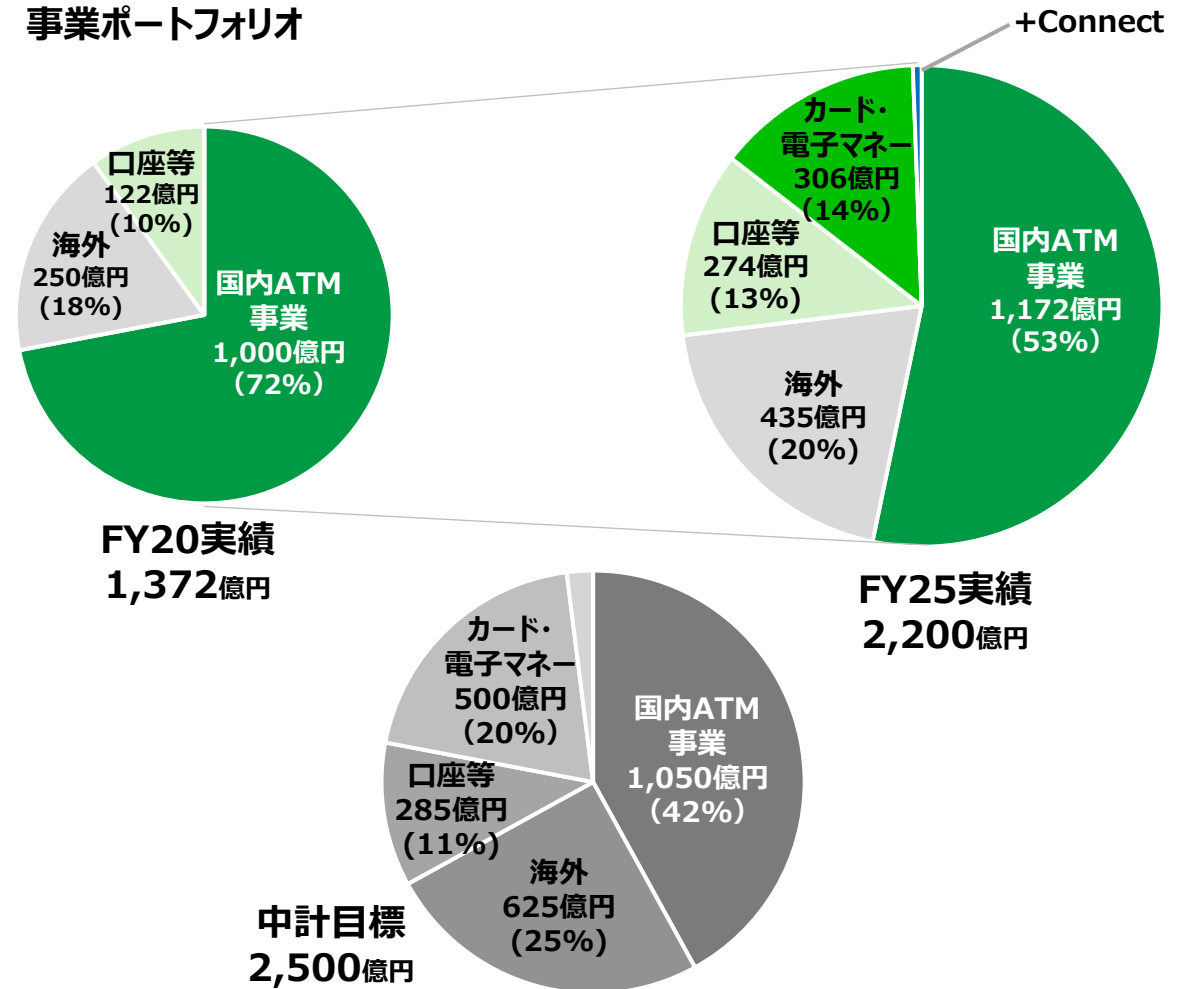
2021年発表
中期経営計画

「成長戦略」「社会課題解決への貢献」「企業変革」を柱に、第2の成長を具体化させる

経常収益・利益・ROEの推移 (単位：億円)



事業ポートフォリオ



前中期経営計画の評価（国内ATM事業）

チャージ取引を含む新サービスを追い風に成長

2020年度

総利用件数
8.3億件

平均利用件数
90.5件

設置台数
25,676台

2025年度

総利用件数
11.2億件

平均利用件数
109.2件

設置台数
28,536台



現金プラットフォームから
ATM+へ進化 **採用社数**
Connect 51社

スマホで現金が引き出せる
業界標準の確立 **採用行数**
スマホATM **29行**

課題

契約獲得長期化、利用者認知度

➡一定の実績獲得、
利用促進方法を確立し、横展開する
ことで契約獲得ペースアップを図る



環境変化

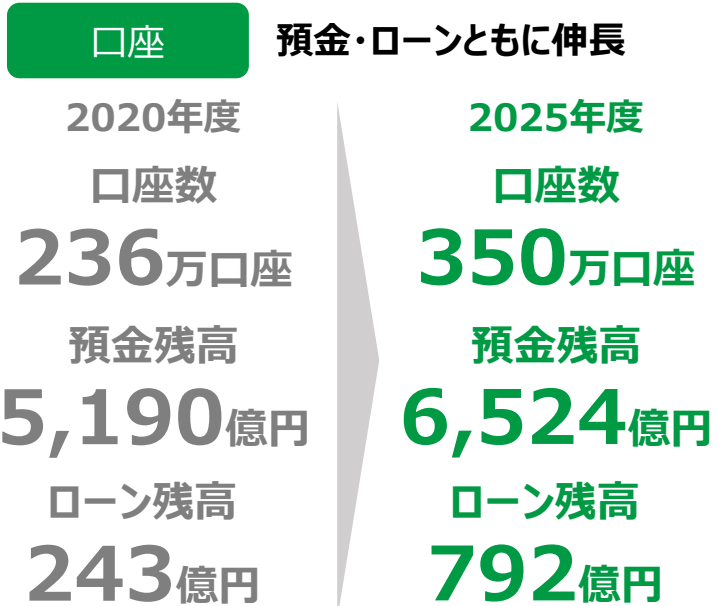
金利引上げ・キャッシュレス化
に引続き対応

前中期経営計画の評価（多角化）

各事業は着実に成長



クレカ・電子マネー
セブン・カードサービス
連結子会社化
クレジットカード
リニューアルへ投資



法人ビジネス
小規模ながら着実に推進

BBF 黒字化、為替取引
分析業への参入
セブン銀行の100%子会社
バンク・ビジネスファクトリー

ACSION 業界でのシェアを
順調に拡大

課題

- 海外**
 - 米国**
さらなる多角化
 - インドネシア・フィリピン**
経済環境変化による成長鈍化対策
ビジネスモデルの転換
- クレカ・電子マネー**
新規会員獲得
7iD連携に加え商品性変更で対応

不採算事業

海外送金、外国人向け与信・保険の整理

社会課題解決は着実に進捗、企業変革は外部評価も向上

社会課題解決への貢献



2024年に5つの「重点課題」を再策定 パートナー企業との社会課題解決の推進

【前中期経営計画期間の成果】

- ✓ 外国人向けの口座開設サービス提供
- ✓ 視覚障がい者向け取引サービス拡充
- ✓ スマホATM取引のデファクトスタンダード化推進
- ✓ 地域通貨のATMチャージ対応
- ✓ 金融教育の推進
- ✓ ATMを活用した募金の実施
- ✓ TCFD提言への賛同およびシナリオ分析の開示

企業変革



『第6回CSA賞～20代に薦めたい 「次世代型人材」創出企業～』受賞

【選定理由】

- ①年功序列・硬直的なキャリアを打破
- ②若手に大きな裁量、挑戦を促す風土
- ③パーパスを社会インフラとしてのサービスに落とし込み、社員の誇りに

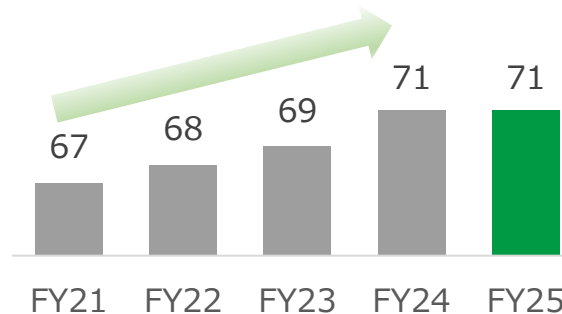


「DX銘柄2026」に初選定

【選定理由】

ATMを起点に、AI・データを活用し、社会課題解決と提携先の合理化・成長を両立するDX推進の取組みが評価

社員のエンゲージメントスコアは着実に向上



データマネジメントオフィス
BIツールのMAU率 74%
生成AI活用
社員に占めるMAU率 74%

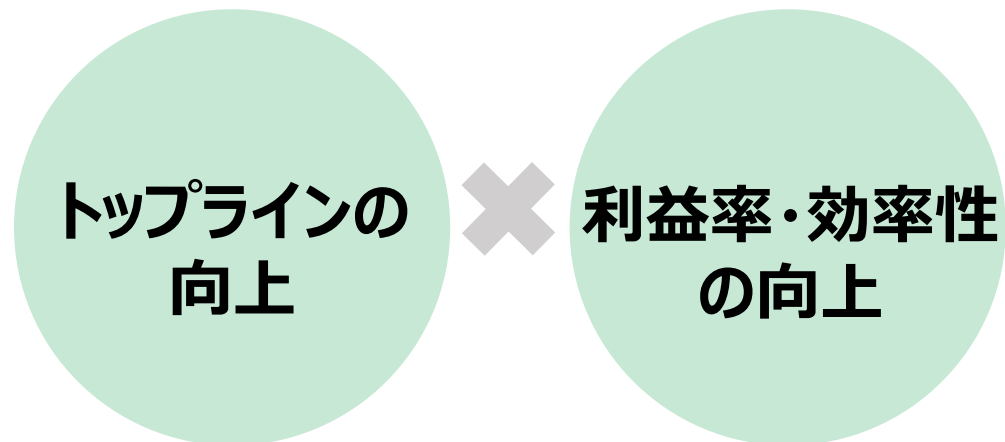
新サービス・コールセンター等で複数の受賞



3か年見通し（2026～2028年度）

短期で変革推進

増収・増益基調への回復



2028年度目標

経常収益 2,800億円

経常利益 400億円

ROE 8%以上



重点施策

トップラインの向上

国内ATM 面の拡大と質の向上

ファミリーマート設置開始
(4年程度で約16,000台)
ATM受入手数料の引き上げ
(2027年度予定)

クレジットカード 黒字化最優先

会員数の純増
独自与信によるショッピング取扱高と金融商
品残高の増加

海外 国毎に戦略推進

米国：Speedway等への設置
インドネシア：事業モデルの変革
フィリピン：提携先・サービスの拡大
マレーシア：設置台数拡大

利益率・効率性の向上

オペレーションコスト削減：ATM機内現金削減、規模のメリット拡大による運営コスト減少
投資先の検討・事業の精緻化：投資実行プロセスの厳格化、事業ポートフォリオの再編
労働生産性のさらなる向上：AI・データを活用した業務効率化、自動化の推進

社会課題解決への貢献

人的資本投資の継続

株主還元方針 変更なし

株主還元の基本方針（2026～2028年度）

- 配当中心の安定的・継続的な株主還元を実施
- 実額にも配慮しつつ、配当性向40%以上を維持

2027年3月期 配当予想

年間計画

11円

中間配当

1株あたり **5.50円**

期末配当

1株あたり **5.50円**

配当指標

配当性向

75.5%
(2027年3月期予想)

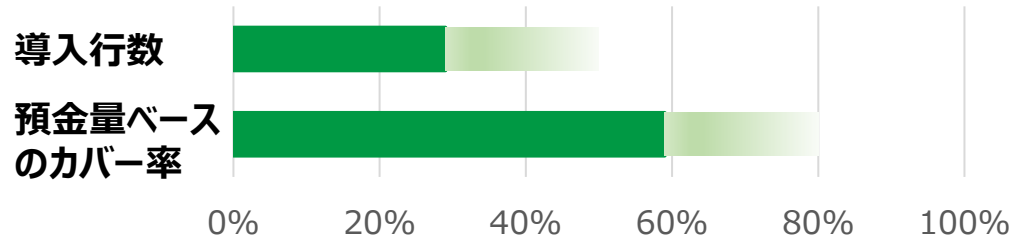
配当利回り

4.11%
(2027年3月期年間配当金予想
÷2026年5月1日終値)

今期の取組み

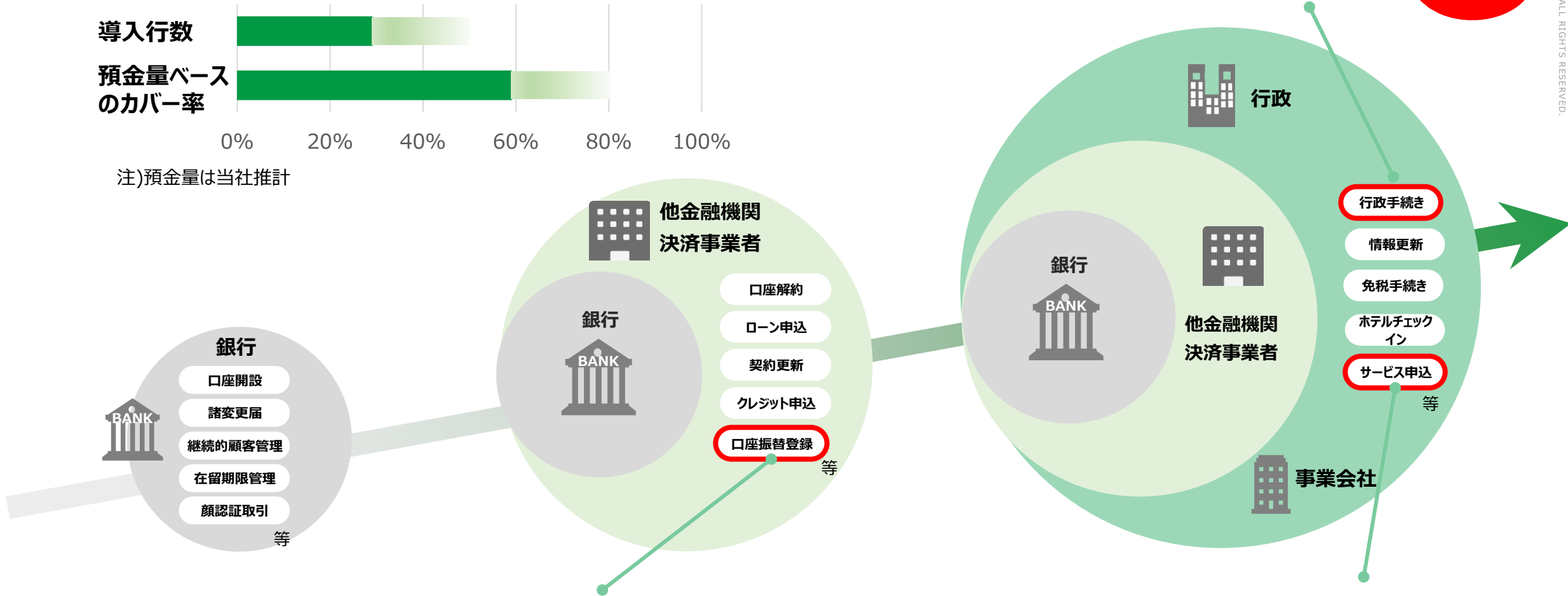
国内ATM事業：+Connectサービス拡大

- 地方銀行での+Connect導入進展
 預金量ベースで約6割をカバー、今後も拡大に取り組む



注)預金量は当社推計

- 物価高対策支援給付金にATM受取を活用
 自治体との提携先数：58先（2026年3月末時点）**1年で3倍**



- ATM口座振替登録：20,000社超が利用可能
 手続き ⇔ 認証 ⇔ 決済 のワンストップ提供

- 2026年4月から通信回線の本人確認が厳格化
 ATMでのサービス拡大予定

ATM共同運営や新たな業務連携の拡大

- 提携金融機関の収益に貢献する取組みを今後も拡大

SAIKYO 西京銀行

- ・口座、預金獲得を見据え、新たにATM共同設置を開始
- ・支店内のATM全台を当社ATMに入替え予定



周南公立大学でのセレモニー



愛媛銀行

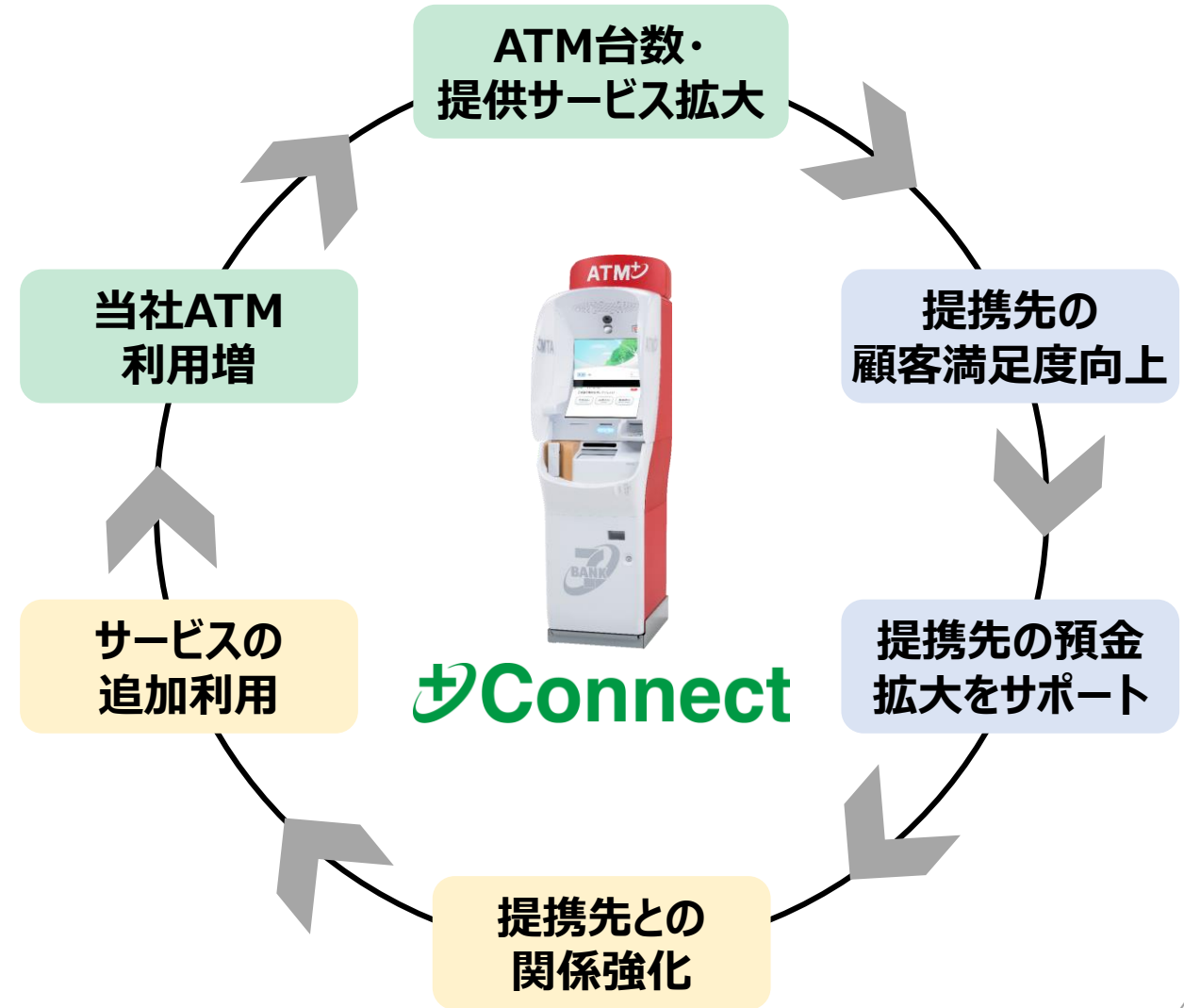
- ・ひめぎんアプリとセブン銀行ATMを融合したサービスを提供



「HandyBank支店」開設プロジェクト



- 台数・サービス拡大が地方銀行等の顧客基盤拡大に寄与



リテール事業

- 口座 預金(稼働口座)の獲得に注力
「お財布口座※」+ 在留外国人向けサービスなど強みを活かしたアプローチ ※少額でも残高がある稼働口座のこと



ATM口座開設チャネル

稼働口座でのデビット利用に期待

在留外国人向け施策



人材管理システムとの連携

技能実習・留学生のファースト口座獲得

口座開設に必要な在留期間

他行

在留期間**6**か月必要



セブン銀行

入国**0**か月で可能

- カードローン リニューアルと広告の高度化でさらに残高積上げ

新規顧客 データ×広告による効率的な広告投下

既存顧客 極度増額 + リテンションマーケティングによるアップセル

FY26カードローン残高 目標900億円 (+108億円)

- クレジットカード 2026年8月下旬リニューアル予定

名称: **nanaco**クレジットカード

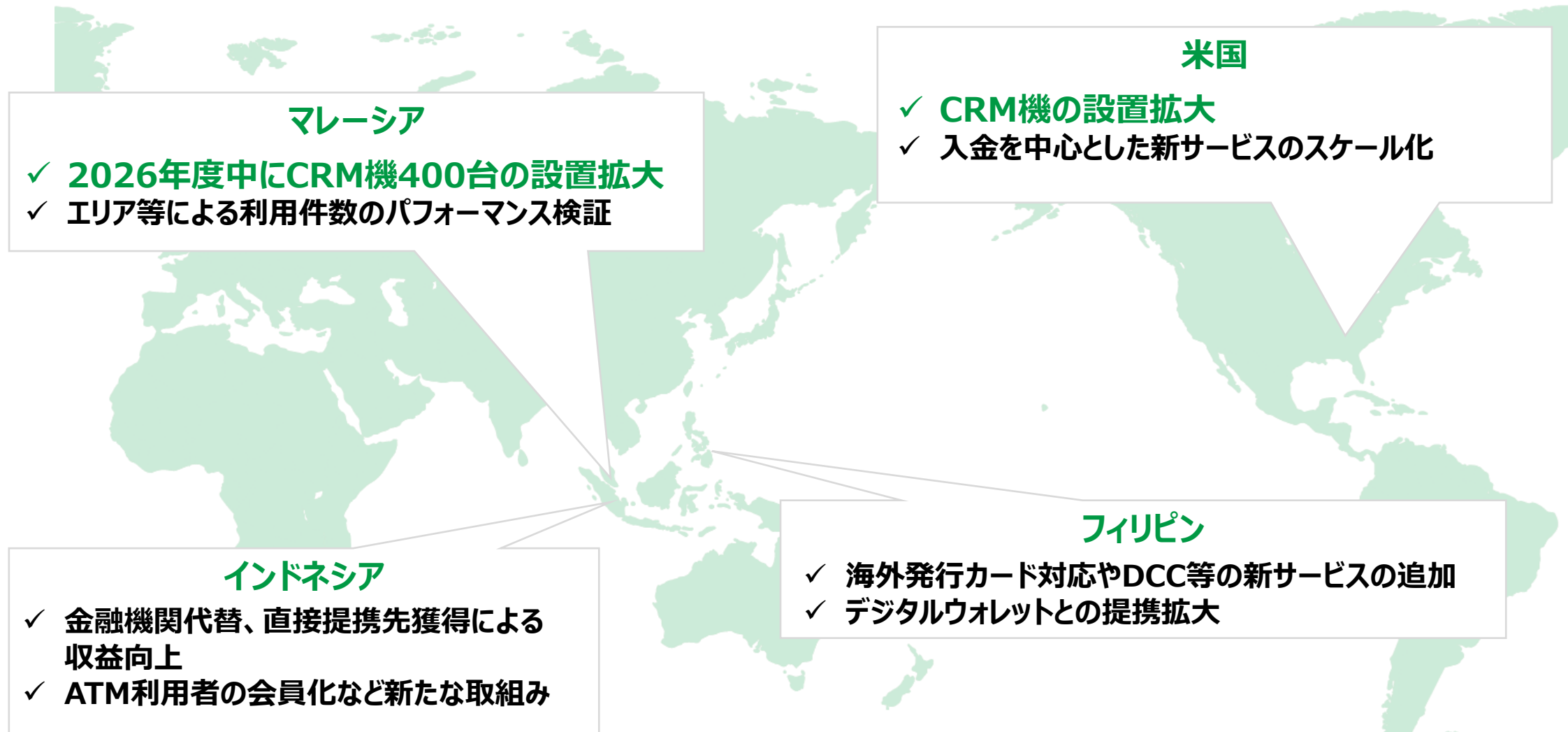


スマホアプリベースの
便利な決済

即時発行・即時利用

セブン銀行グループ
独自の利用特典

海外事業：ATM事業の利益拡大、各国でユニークなアプローチを



注1) CRM機は紙幣還流式ATMを指す

注2) DCCは多通貨決済サービスを指す

国内28,000台以上の
ATMというリアルチャネルと
提携企業とのつながりを生かし、
さらなる成長を目指す



AGENDA

06

APPENDIX

APPENDIX

損益計算書【連結】

(単位：億円)

	2025年 3月期	計画 (修正後)	2026年 3月期	前年差異	2027年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	2,144	2,160	2,200	56	2,355	155	1,140	65
経常費用	1,841	1,890	1,898	57	2,060	162	1,005	78
経常利益	302	270	301	△1	295	△6	135	△13
特別損益	△14	—	△86	△72	△35	51	△25	△21
親会社株主に帰属する 当期純利益	182	110	134	△48	170	36	65	△34

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル 2025年3月期実績 151.69円、2026年3月期計画 148.08円、2026年3月期実績 149.61円、2027年3月期計画 154.00円

注4) 2027年3月期は、クレジットカード事業の減損を主因とした特別損失35億円の計上を見込んでおります

(単位：億円)

APPENDIX

損益計算書【セブン銀行単体】

	2025年 3月期	計画	2026年 3月期	前年差異	2027年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,357	1,400	1,429	72	1,490	61	735	26
うちATM受入手数料	1,134	1,150	1,160	26	1,180	20	589	13
経常費用	1,084	1,155	1,162	78	1,240	78	605	36
うち資金調達費用	11	25	27	16	56	29	23	13
うちATM設置支払手数料	177	181	180	3	186	6	93	3
うち業務委託費	265	277	271	6	292	21	143	10
うち保守管理費	38	38	35	△3	37	2	17	1
うち減価償却費	231	251	250	19	249	△1	123	△2
経常利益	273	245	266	△7	250	△16	130	△9
特別損益	△21	△5	△7	14	△5	2	△2	△1
法人税等合計	74	75	78	4	75	△3	40	△2
純利益	176	165	180	4	170	△10	90	△6
EBITDA	504	496	517	13	499	△18	253	△12
期末ATM設置台数 (台)	27,990	28,627	28,536	546	29,404	868	28,741	505
ATM受入手数料単価 (円)	106.5	104.5	105.7	△0.8	105.7	0	106.0	0.8
平均利用件数 (件/台/日)	108.0	108.6	109.2	1.2	108.3	△0.9	108.5	△0.7
総利用件数 (百万件)	1,089	1,122	1,122	33	1,139	17	568	8
海外送金サービス取引件数 (千件)	660	693	653	△7	650	△3	323	△3
デビットサービス取引件数 (千件)	22,782	29,632	24,957	2,175	28,440	3,483	13,714	1,454

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て 注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較 注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

APPENDIX

損益計算書【セブン・カードサービス】

(単位：百万円)

	2025年 3月期	計画 (修正後)	2026年 3月期	前年差異	2027年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	32,529	29,560	30,670	△1,859	30,395	△275	13,635	△265
うちクレジットカード事業	15,052	14,590	14,631	△421	15,440	809	7,250	251
うち電子マネー事業	17,476	14,970	16,039	△1,437	14,955	△1,084	6,385	△516
経常費用	29,834	30,890	31,262	1,428	30,860	△402	15,090	340
うちクレジットカード事業	16,208	18,160	18,572	2,364	18,890	318	8,950	351
うち電子マネー事業	13,625	12,730	12,690	△935	11,970	△720	6,140	△11
経常利益	2,694	△1,330	△ 591	△ 3,285	△ 465	126	△ 1,455	△606
純利益	830	△7,100	△ 5,817	△6,647	△ 3,530	2,287	△ 3,490	△2,461

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

(単位：百万米\$)

APPENDIX

損益計算書【FCTI単体】

	2024年 12月期	計画 (修正後)	2025年 12月期	前年差異	2026年12月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	177.7	179.5	182.3	4.6	225.5	43.2	106.0	16.3
経常費用	180.7	163.9	166.4	△14.3	209.0	42.6	100.0	19.0
うち資金調達費用	32.7	27.1	27.1	△5.6	30.7	3.6	15.5	1.9
うちATM設置支払手数料	72.9	63.7	64.2	△8.7	79.0	14.8	36.9	6.0
うち業務委託費	20.9	18.6	18.5	△2.4	21.5	3.0	10.7	2.1
うち保守管理費	17.7	18.1	17.6	△0.1	23.5	5.9	11.5	2.4
うち減価償却費	3.2	4.1	4.1	0.9	12.5	8.4	5.1	3.6
経常利益	△3.0	15.6	15.9	18.9	16.5	0.6	6.0	△2.7
特別損益	△0.1	0.1	0.1	0.2	2.0	1.9	0.9	0.9
純利益	△3.3	14.8	15.5	18.8	15.5	0	5.5	△3.0
EBITDA	0.1	19.8	20.0	19.9	29.0	9.0	11.1	0.8
期末ATM設置台数 (台)	8,332	9,563	9,583	1,251	11,825	2,242	—	—
平均利用件数 (件/台/日)	47.2	47.9	48.9	1.7	43.8	△5.1	—	—
総利用件数 (百万件)	147.0	153.8	157.5	10.5	180.9	23.4	—	—

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)



	2024年 12月期	計画 (修正後)	2025年 12月期	前年差異	2026年12月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	8,446	7,435	7,530	△916	6,920	△610	3,450	△423
経常費用	7,510	7,055	6,592	△918	6,230	△362	3,170	—
経常利益	936	380	937	1	690	△247	280	—
純利益	718	300	737	19	365	△372	190	—
ATM台数 (台)	9,312	9,816	9,073	△239	9,283	210	—	—

(単位：百万円)



	2024年 12月期	計画 (修正後)	2025年 12月期	前年差異	2026年12月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	8,151	8,355	8,552	401	10,280	1,728	4,640	495
経常費用	7,844	7,955	8,112	268	9,730	1,618	4,425	489
経常利益	306	400	439	133	550	111	215	7
純利益	207	300	148	△59	415	267	160	1
ATM台数 (台)	3,515	4,082	4,009	494	4,409	400	—	—

注1) 為替レート

100インドネシアルピア 2024年12月期実績=0.956円、2025年12月期計画=0.903円、2025年12月期実績=0.909円、2026年12月期計画=0.902円
17イリピンペソ 2024年12月期実績=2.643円、2025年12月期計画=2.594円、2025年12月期実績=2.602円、2026年12月期計画=2.558円


注2) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較


注3) ATMiにおける上期計画の前年差異の一部については、2025年度末に会計基準を遡り適用した影響により、開示しておりません。


APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)

 セブン銀行の100%子会社 パンク・ビジネスファクトリー	2025年 3月期	計画	2026年 3月期	前年差異	2027年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	3,551	3,785	3,773	222	4,000	227	1,965	104
経常費用	3,700	3,585	3,729	29	3,695	△34	1,810	△91
経常利益	△149	200	44	193	305	261	155	195
純利益	△170	170	4	174	245	241	125	197

 ACSiON	2025年 3月期	計画	2026年 3月期	前年差異	2027年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	879	950	1,228	349	1,820	592	875	359
経常費用	920	1,265	1,252	332	1,745	493	785	283
経常利益	△41	△315	△23	18	75	98	90	77
純利益	△437	△315	△485	△48	25	510	30	183

株式会社  セブン・ペイメントサービス セブン銀行100%子会社	2025年 3月期	計画	2026年 3月期	前年差異	2027年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	819	805	905	86	1,010	105	500	102
経常費用	629	630	611	△18	745	134	365	95
経常利益	190	175	294	104	265	△29	135	7
純利益	141	120	204	63	180	△24	90	△1

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。